

ものづくりチャレンジ

小中学生がロボットや アクセサリを製作

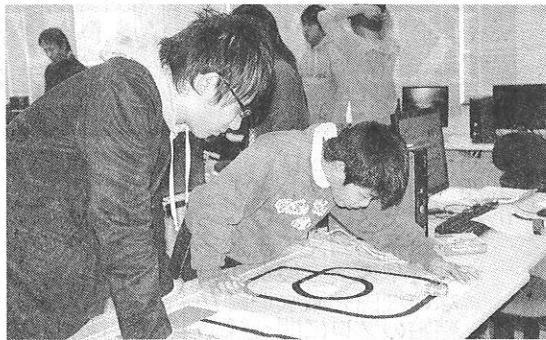
有明高専

大牟田市東萩尾町の
有明工業高等専門学校
（立居場光生校長）で

十日に「エレクトロニクスものづくり体験教室」、十一日に「女子中学生のものづくり

チャレンジ！」が行われた。

「エレクトロニクスものづくり体験教室」は同校電子情報工学科主催。子どもたちの理科離れを防ごうと小学



マシンに黒線の上を走らせる児童



学生からアドバイスを受ける女子生徒

校高学年を対象に行われており、今回で第六回。楽しいロボットプログラミンググループ「トレーサーを操ろう」をテーマに行い、四人の児童が参加した。

この日はプログラミングの基礎から学び、黒い線の上を走るライントレーサー作りに挑戦。今年は新たに障害

物を感じて避けるなど、三次元的なコースをクリアすることを目標にし、児童は熱心に取り組んでいた。

「女子中学生のものづくりチャレンジ！」は同校機会工学科が主催し、今回で第三回。理系の進路に進む女子生徒を増やすことが目的で、この日は「世界のたっただけのシルバリアクセサリー作り」と

題し、女子中学生とその保護者合わせて二十七人が参加した。

参加者はデザインから考え、銀粘土を使ってペンダントトップやリングを製作。学生たちからアドバイスを受けながら、成形、乾燥、焼成などに打ち込み、二日間かけてオリジナルのシルバリアクセサリーを完成させた。

（河野 美緒）